

新年 明けまして おめでとうございます

支える会通信

発行責任者
柚木康子
大田区羽田
4-10-4
石井ビル3階
TEL03(6423)7878
FAX03(6423)7430
Eメール
sasaerukai@
lemon.plala.
or.jp

一層の会員拡大を！

新しい年となりました。大晦日の解雇からJAL原告団が迎える3回目のお正月です。一昨年11月の結成から支える会も一年を迎え、この間皆様の会費は日本中に支援を訴えに行く原告団の活動費として使わせて頂きました。心よりお礼を申し上げます。

全国に支援の輪は広がっています。しかし、JAL闘争勝利のために「あの解雇はおかしい！」という、裁判所を動かす、世論を喚起するうねりを更に大きくする必要があります。

原告団は、各地の国労や地域の労働組合・団体、地域の支える会の協力を得て昨年11月21日姫路を起点に12月6日まで近畿・東海道キヤラバンを行い、JAL解雇の問題点を訴えてきました。今年は是非全国キヤラバンを実現していくことと企画中です。このような活動に向け、原告団もカンパ要請や物品販売を行っています。JAL闘争を支える会「会費による闘争支援が要となります。」

自公政権に戻り労働運動に厳しい年となりそうですが、支える会に参加を頂いている皆さんの会費継続と新規会員の拡大で、闘争勝利をぜひとも引き寄せたいと思います。

昨年10月より入会後一年経ち、更新期を迎えられる会員の方には「会費継続のお願い」を送っています。継続して会費を収めていただけますよう、また新規会員の増やすために、是非職場の仲間やご家族、お友達に入会のお誘いをしていただけますように、重ねてお願いいたします。

事務局長 柚木康子

控訴審が開始されました！

12月6日にパイロット、14日に客室乗務員の控訴審の第一回目が開かれました。両日とも支援の方を含め200名近くが結集し、傍聴席の抽選も5倍と狭き門でした。

法廷では提出書面・書証の確認のあと代理人と原告団長から陳述を行いました。

山口乗員原告団長は原審の不当性について怒りを込めて陳述、内田客乗原告団長は不当に解雇された上に、更に不当判決を受けた原告の口惜しさを訴えました。

日本航空は原告の主張に対して未だ反論していない点を裁判所から指摘され、書面で提出することを求められました。

た。原告は1月末を目途に人選基準等に関する数人の学者の意見書を提出する予定です。控訴審では十分な主張立証の場を裁判所に認めさせることが必要です。

そのために更に運動の輪を広げることが必要です。皆様の一層のご支援をお願い致します。

《次回日程》

乗員裁判 2月7日

客乗裁判 3月1日

両日共14時30分～101号法廷

裁判所前宣伝行動は

12時30分の予定

傍聴券抽選は

13時50分から

JAL不当解雇12・6 勝利をつかむ大集会 700名余が結集！

近畿・東海
キャラバン隊到着！

池袋みらい座の「勝利をつかむ大集会」は乗員裁判控訴審第1回期日にちょうど重なった。集会はJAL闘争を拡げ支援を呼びかける近畿・東海キャラバン（姫路から静岡まで2府6県）の到着式で始まった。キャラバンに参加した原告団とともに国労近畿地本の園委員長が登壇し、各地でのキャラバンでの取組を紹介、国労近畿として共に闘う決意を表明された。

開会挨拶は全労協全連議長。規制緩和を競い合う衆議院選の状況や首切りが広がる電機産業の状況に触れつつ、日航の闘いに全てを背負わせることなく闘いの幅や激励の拡がりを見せていこうと呼びかけた。

更生手続きに構造的に組み込まれた不当労働行為政策
次いで上条貞夫弁護士から

裁判報告と控訴審の展望が語られた。上条弁護士は、今回の解雇が管財人の代理人として社長以下日航労務が従来からの一貫した不当労働行為政策を貫いたこと、辞めさせようと狙った組合員を乗務は

ずして退職強要し、年齢、病気を理由に選別解雇を行ったこと、スト権投票に介入するなど労使交渉を不当労働行為で切り崩したことを具体的に紹介し、会社更生手続きの中に組み込まれた不当労働行為であることが特徴的だと指摘。

地裁判決は「更生手続きとして行われた解雇」だから正当だと言いつ偏見から結論を出し、理由をこじつけている。また解雇の時点で必要性を判断すると言いつ判例法理を否定していることは重大な誤りだと指摘。整理解雇闘争のこの間の判決や闘いで決着の歴史を紹介し、日航事件はまさに人権・憲法問題であり、控訴審では新証拠と一層の不当労働行為の立証を求めていると報告された。

役者ぞろいの原告団・・・笑いながらも怖いJALの実態があらわに

原告団は役者がそろい、座つき作者もいるらしい。構成劇「必ず勝つで、ごJAL（ごじゃる）」の上演。日比谷公会堂での7・26決起集会では朗読劇で涙を誘ったが、今回は笑い満載。麦盛会長、植田社長、管財人の酒席に袴姿の大岡越前が登場しILO勧告などを紹介して世界を見よと諷める場面。JALフィロソフィーを読み上げながら、売上第一・休暇は後回しの客室乗務員のミッシング場面、機長が怪我をしながら燃料節約で台風を突っ切ると言う機内での飛行前打ち合わせの場面、重さ90kgの機内サービス用カートが機内の通路を走り抜ける場面、ハドソン川の奇跡を生み出したのは57歳のパイロット、58歳の客室乗務員とベテランクルであったことが映像と共に紹介され、最後は原告扮するハドソン川の奇跡のパイロットとILO労働基準局長カレン・カーチスさんがJALの解雇は国際的に通用しないと冒頭の3人を追及する場面と大熱演。大いに笑えたが、それがJALの現状であることに背筋が寒くなる思いもした。

海外からも心強い
連帯メッセージ

連帯メッセージは近畿・東海キャラバンを迎えた「JAL闘争を支える静岡の会」の増田事務局長、新婦人の平野男女平等働く女性部長、日本乗員組合連絡会議の馬場LEGAL（法務）委員長、それぞれ、「JALの解雇は労働者に何の理由もない解雇、一方で大量の新規採用しながら原告を戻さない、負けられない闘いだ」、「日本の135カ国中101位というジェンダー指数にスペインの人々も驚いていた。この解雇は働く女性の権利の問題でもある、草の根の女性の力を集めて撤回を」、「今日の控訴審を傍聴した。乗員はルールを守って仕事をする集団だ。ルールを守るためには物の言える職場が重要だが、航空現場の現状は物が言いにくい職場になりつつある。そのような職場

を改善させるためにこの闘いを支援する」と。

最後はIFALPA（国際定期航空操縦士協会連合会）から「世界100カ国10万人のパイロットを代表してJALの不当判決を覆す闘いを全面的に支援する」とのビデオメッセージが紹介された。

JAL闘争を支える会の
継続加入と一層の拡大で
闘争を支えよう

国民支援共闘津恵事務局長から12月14日の客乗控訴審、12月21日の銀座デモ、高裁宛て署名の取組、駅頭宣伝などの行動提起がされた。ついでJAL闘争を支える会榎木事務局長が、この1年の原告団への闘争財政支援の報告と11月より2年目に入る支える会への継続と新規加入の呼び掛けを行なった。



12・6勝利をつかむ大集会

Never Give up!

トリーは2人の原告団長の決意表明。控訴審の法廷で思いのたけを裁判長にぶつけた山口乗員団長はタクシー会社の全員解雇争議を紹介しながら、キャラバンで地方の方々とも繋がった、粘り強く闘つと簡潔に決意表明。

ついで内田客乗団長はキャラバン開始の姫路でJAL闘争を訴えたがまだまだ不十分と痛感。是非全国キャラバンにつなげたい。被解雇者の組合役員のリストを見たイギリスの学者は、「不当労働行為は歴然だ」と言ったが判決はタマタマとした。政府やJALは私たちがあきらめるの

音威子府の会 結成!

11年11月19日、音威子府勤労者会館において「JAL闘争を支える音威子府の会」を結成しました。

国鉄闘争終結後、この闘いの継承と新たな地域運動が模

を待っているが、「ILO勧告も活かし粘り強く闘えば必ず勝つ、Never Give up!」

「だ」とイギリスの国際労働法の権威であるキースユニング教授にも激励された。

「Never Give up!」で闘います、一緒に闘ってください!」と訴えた。

集会は全労連大黒議長が日本中にJALの闘いを広め、闘いを支えようと開会挨拶。

最後はCCUの現職宮井さんの音頭で団結カンパローの音が響いた。

当日の会場カンパは33万円が集まった。また都知事候補の宇都宮健児さんも登場、JAL闘争への連帯メッセージを贈り盛り上がった。

控訴審で勝利をつかもつ!

全国各地で「支える会」結成される!

索されてきました。地域の仲間からは、国鉄闘争のようにJALでの不当な解雇者を支援する組織ができないかと話が持ち出され、結成に向けて何度か相談会を持つてきました。

その中で、まずは、当事者

に来て頂いて話を聞こうということになり、相談会として、原告団の鈴木圭子さんを招いて「不当解雇と闘うJAL労働者に学ぶ集会」を9月19日に開催しました。

不当な日本航空の解雇内容の話や懇親会での交流を通じ、若年層から支援の声が大きく盛り上がり、今回の入会でも多くの若者が中心に、会員になつて頂きました。

総会では、今後音威子府の会としては、より多くの人にJAL闘争を広め、入会活動、支援物販、支える会通信の会員への配布の取り組みを積極的に進めることを全体で確認



し、総会を終りました。

結成時現在の入会状況は、4団体、22個人となつています。音威子府の会・役員構成代表・小西邦広(政治局)、副代表・佐々木修(地区労)、石澤昭則(新社会党)、事務局・関野政幸(ユニオン)、事務局・北川慎(地区労)、吉田一義(北教組)、杉山均(ユニオン)

11・27 愛媛原告を支える会結成

11月27日、愛媛県松山市で、愛媛県出身のJAL争議原告3名(林恵美さん、大池ひとみさん、二宮音子さん)のたたかいを「支える会」が結成されました。会の結成は、愛媛労働組合の呼びかけに応え、愛媛地域で活動する単組や団体が中心となつて準備しました。

当日は、JAL不当解雇撤回をめざす学習決起集会と併せて取り組まれ、和波宏明争議団事務局次長を講師に招いて、不当解雇の本質や東京地裁判決の不当性をしっかりと学習しました。

集会は、愛媛合唱団の「あ

の空へ帰ろう」の合唱が始まり、会議室いっぱいの80名が熱い気持ちになるなか、建交労・澤田康夫さんの「原告3名を必ずあの空へ帰そう」との力強い決意表明で締めくくられました。

「支える会」では、全国の支える会の会員500口をめざすとともに、東京高裁への公正判決を求める署名や学習会・宣伝に取り組みことを申し合わせました。

12月11日には、「支える会」として初めての宣伝に取り組みます。

JAL愛媛原告を支える会 事務局 重見幸春 (通信労組特別執行委員)



原告団・事務局紹介

谷口 正明（香川県善通寺市出身）



副操縦士は48歳以上と言

う年齢基準で解雇された谷口（やぐち）です。現在はオルグ活動だけでなく、日本航空乗員組合の執行委員として、コスト削減優先で安全を軽視する会社と団体交渉等でもりあっています。

森 真一（姫路市出身）



某歌手と同名。1955

9年生。趣味は模型、絵画、登山。姫路城は国宝で世界遺産にも登録されています。ぜひ機会があれば訪れてください。ただしここ数年は大修理中で要注意です。

榊原 正好（静岡県出身）

藤枝東高校を卒業しまし



た。現在福岡市在住。空自航空学生30期、戦

闘機（F-1）、輸送機（YS-11・C-1）、趣味・特技…スポーツ全般（野球・サッカー・バスケット・ゴルフ・空手・etc）

池田 清（山形県出身）



いつもご支援ありがとうございます

す。私は、割愛制度（民間パイロットの不足を補うため自衛隊の経験豊富なパイロットを民間航空会社へ送り出す制度）により航空自衛隊から旧日本エアシステムに入社し、日本航空との統合を経て現在に至っております。不当かつ不合理な整理解雇になる前は、MD90の副操縦士として日本の空を飛んでおりました。

斉藤 良子（千葉県出身）

安全運航と労働条件向上



の為、組合差別と闘いながら仕事を

してきました。若手、中堅、ベテランと一緒に働ける職場がバランスのとれた良い職場だと思っています。必ず、仲間と一緒に戻ります。

平井 洋子（神奈川県出身）



私が裁判闘争をしているのは、自

分の退職する時期は自分で決めたかったからです。でも、きつと一人では裁判闘争はしていなかったと思います。仲間がいる事は素晴らしい事です。そして支援のお願いに何って、様々な不当な事と闘っている沢山の素敵な方々と巡り合い、私の人生の財産となりました。

平野 千香子（名古屋出身）

生まれも育ちも名古屋です。2010年の大晦日の



除夜の鐘を山手線に乗りながらぼん

やり聞いていたのを昨日の事に様に思い出します。解雇自由な社会にならないよう、力を尽くしたいと思っています。

加藤 浩子（新潟市出身）



1977年JAL入社。飛行時間25501

時間。座右の銘…吾唯足知。尊敬する人…母。裁判活動という未知の世界に飛び込み、時差の無い生活に心身共に絶好調です。人生悔いのないように生きていきたいです。

《今後の日程》

1月18日 京都駅前宣伝行動、18時00分

1月19日 提訴から2年宣伝行動&デモ、詳細別掲

不当な解雇、提訴から2年！
1月19日（土）宣伝行動&デモ行進

有楽町イトシア前宣伝行動
（交通会館横のビル）

13時30分～14時30分

銀座デモ15:00 水谷橋公園集合
～16:00 日比谷公園

主催：JAL支援共闘会議

1月29日 全国一斉宣伝行動（東京、大阪、福岡）
15時00分 福岡空港
18時00分 新宿駅南口、品川駅港南口、錦糸町北口、池袋駅東口、立川駅北口
博多駅筑紫口、天神ソリア前、小倉駅前
18時30分 有楽町マリオン前、難波高島屋前
2月7日 14時30分 パイロット裁判101号法廷
2月14日 17時00分 日航本社前宣伝行動
2月18日 京都駅前宣伝行動、18時00分
2月28日 全国一斉宣伝行動（東京、大阪、福岡）